

一般ボランティア第1回定例会【意見交流会】会議録

08.6.8（日）読書振興室

司会：市川、記録：薮本

参加者：ボランティア13名、館長

1 意見交流

(1) 自己紹介

(2) 日頃の活動で気づいたこと

- ・本の整理をする上でわかりにくいところがある。小説、S（新書）など。
- ・ブックエンドがなく倒れている本がある。
- ・閲覧室を囲んで椅子が設置してあるが、夕方や雨の日は暗い。照明に問題あり。
- ・読書感想文の本のコーナーを設置してはどうか。
→児童コーナーに小中学生の課題図書リストあり。
- ・障がいをもたれている人の本が一番上の棚にあるためとりにくい。最上段は車椅子の人などには見にくい。場所を替えてはどうか。脚立をもっと置いたほうがよい。
- ・ボランティアが防犯に役立つ（盗本がなくなるのでは）。
- ・ボランティアの募集をもっとアピールしたい。
→HP（ボランティアページ）開設し、新規募集している。
- ・倫理・哲学部門におくべき本が作家別のところに入っており、利用者に聞かれ困った。分類はどのように決めるのか。
→NDC、TRCマークによる。
- ・本の選定はどのようにしているか。
→選定委員会で行っている。
- ・書架に並んでいる本を見て、目当てのものがないと帰っていく人がいる。検索の方法をアピールした方がよい。「借りたい本があったら教えてください」という周知が必要。
- ・（↑を受けて）相談の具体例を示すなど、相談窓口をもっとアピールしてはどうか。相談した場合の対応は親切で素晴らしい。
→2007年度は相談が2倍に増えた。
- ・貸出を8冊くらいにしてほしい。
- ・図書館と利用者の意見交換はあるのか。
→意見箱、「三重県一万人アンケート」等
- ・47都道府県立図書館で一回の貸出冊数はどのくらいか。
→最大で10冊、20日間。5～10冊の県が多い。
- ・予算は新設時と比べてどのくらいか。
→利用者（開設時）65万人⇒（現在）35万人／予算1億数千万円⇒3千万

- ・月刊誌がどれだけストックされているか。雑誌の昨年の特集の見出しを、雑誌架の扉を開けた裏に貼ってほしい。(背表紙分の情報)
 - 閲覧室には半年分ストックしてある。OPACで特集記事の見出しを見ることができる。
- ・ビジネス関係雑誌がない。
 - おしごとコーナーに移動している。
- ・文学コーナーに人がいないので書庫の本をそこに出してほしい。土日は書庫出納に時間がかかる。人に聞きたくない、閉架の本の貸出を頼めない人への対応は。
 - 「座る場所が少ない」という意見もある。文学コーナーについては検討中。
- ・棚の脇にある椅子に利用者が足を投げ出して座っていると通れない。マナーの悪い人への対応をどうするか。「携帯禁止」の表示をしてほしい。図書館は遠慮しすぎではないか。
- ・津市の図書館はどのようなか。
 - 津市の図書館は利用が増えている。市町村図書館と県立図書館の役割の違いもある。

(3) 今年度の活動・企画について

- ・ボランティア担当者会議への参加について
 - 昨年度から図書館のボランティア担当者会議にボランティアを代表して大江さん、井村さんに出席していただいている。今年度も継続したい。
 - (決定事項) 継続する。代表は引き続き大江さん、井村さんをお願いする。
- ・修理工房+定例会
 - 昨年度から始めた月1回の修理工房と定例会を今年度も継続したい。
 - (決定事項) 継続する。昨年同様、第3木曜日 14:00~16:00 とする。
- ・個人ファイル管理方法
 - 現在ボランティアの活動記録を、事務室の個人ファイルとカウンターの活動記録表の2種類に記入してもらっているが、なかには事務室の個人ファイルを使用していない方もいる。カウンターの活動記録表を館としての集計に使っているの、事務室の個人ファイルを廃止してはどうか。
 - (決定事項) 従来どおり、2種類の活動記録を併用する。

2 M祭2008について

別紙事項書に基づき、説明と参加の呼びかけを行った。

3 配布物について

事項書に従い、説明及び配布をおこなった。